

濫費 出鱈目—買う。

リ

利益 儲け—幸せ。

理解 「解る」と同じ手まね。

理解に苦しむ 五指の指頭を上にし、掌を内側にした手の中指で鼻頭を叩たく。

利害 儲け—損。

離婚 「夫婦」の両指を左右に離す。

理屈 「意味」の手まねをして、両手の集め合わせた互の五指の指頭で上下に突つき合わせる。理屈をこねること。

陸軍 掌を内側にして五指の指頭を集め合わせた両手を右胸に上下に（左手は下）つける。銃をになう第一の姿勢。

陸地 「土」を表わして、掌を下に向けた右手を左胸脇辺りから前方へ弧を描いて右へ

（広さを表わす）

力量 「腕前」と同じ手まね。

利己 「吝ちんぼ」と同じ手まね。

利巧 「賢い」と同じ手まね。

理想 (1)完全—立派—一致。(2)好き—思う—一致。(3)未来—幸福—造る—想像。

利子 「金銭」の手まねをして、五指の指頭を右にさし、掌を上に向けた左手の上に、指頭を前方にさした右手の人差指で一つの線を

手前の方へ引く。

律義 「正直」と同じ手まね。

立身出世 男性を（或は女性）を表わした手を下から徐々に上へあげて行き「有名」（名をなす）の手まね。

立派 「善い」の手まねを大きく表わす。

立腹 「憤る」と同じ手まね。

理由 「意味」と同じ手まね。

流行 (1)「ハイカラ」の手まねをして、掌

を上向けた両手を胸の前から前方斜め左右に  
さし出して行く（拡ろがるの意味）。(例) 病氣  
（或は風邪）―拡ろがる。

旅行 「旅」と同じ。

了解 「解る」と同じ。

漁師 魚―釣る―人々。

良心 (例) ほんとうに―正直―心。(例) 仏（或  
は神）―叶う―心。

両方 「較らべる」と同じ要領の手まねを  
して、「二」の数を表わす。

料理 (例) 美味しい―いろいろ―造る。(例) 食  
べる―物（いろいろ）―炊く（「火」の手まね）  
―切る（左手掌を俎にして右手を包丁として  
切る真似）。

旅館 「宿屋」と同じ。

旅費 旅―必要―金銭。

理論 「研究」と同じ手まね。

隣家 「家」の手まねをして左手をその姿

態のまま残し置き、右手もその姿態のまままで  
左手の手甲にそのの手甲をびったり背中合せ  
にしてから、左手を左へ移つして、両手で再  
び「家」の形をつくる。

格闘 「嫉妬」と同じ。

臨終 終り―死。

倫理 「道德」「修身」と同じ手まね。

## ル

類 両手の人差指の指頭をつけ合わせてか  
ら左右に離し、夫々下へ僅か心持ち弧を描い  
て（即ち「の形」―いろいろ）。

ルール 「規則」と同じ。

留守 「不在」と同じ。

ルンペン (例) 「失業」と同じ手まね。(例) 指  
文字の「ル」即ち指頭を上にした親指と人  
差指と中指の三指（掌は前向）の手をぐるぐ